



「高齢化で登山道の整備の担い手が少なくなり、地域の宝である河平連山がもりメイト倶楽部の協力で維持できる事を嬉しく思います。そのためにも、安全第一でご無理のないように」朝のミーティングにて松ヶ原自治会長より。



朝のミーティング。目的、作業内容を周知し安全を確認。

■ 今回の作業は、「登山道周辺の枯損木伐採により安全を確保する。」「展望所周辺の眺望の改善」をメインに行いました。各班 8 名の 2 班編成、A 班は枯れ松の伐倒をメインとし、洗い場付近に 5 名、馬ヶ峠の中間を 3 名が担当しました。B 班は登山道の安全確保と景観整備をメインに作業を開始しました。景観整備として天狗岩案内板から天狗岩が見渡せるように、北西斜面のコバノミツバツツジを残しながら道を切り開き、コナラやスタジイなど中高木を 5 本伐採しました。昼食後、伐採木の処理を行い、早めに下山。途中、馬ヶ峠を過ぎた登山道の頭上に倒木が掛かっており、また道の横にも枯れ松が 3 本。ロープをかけて引き倒し、いずれも邪魔にならないように道脇に移動。ふりかえりでは、予定の枯れ松の伐倒は完了しましたが、倶楽部のチェーンソーの不具合で作業に大幅に支障を来したことが、何とか個人所有のチェーンソーで対処しましたが、整備の課題と対策が急がれることを重く受け止めた次第です。

■ 今後の作業については、まだまだ、枯れ松が登山道近くに残っており、登山道の安全確保の作業が必要です。併せて、各眺望の見晴らしも確保していきたいと思ひます。

河平連山例会初参加の下山さんと、一般参加のてつたに銚谷さんは「手ほどきを受けながら色々な作業を経験できて良かった」「また、皆さんと一緒に活動したい」との嬉しい思いが聞かれました。

■ 「河平連山・登山道整備」の例会は、当日が雨の予報で急遽翌日の 23 日(月)の秋分の日に変更。

各班のグループラインで連絡を取り合い出欠確認。大幅に参加者も減少しましたが、作業エリア、班体制を見直した異例の開催となりました。

■ 当日は、前日とは打って変わり秋晴れ！登山口への乗り合わせ車両の調整をし、作業内容周知の後、機材・道具の確認を終え、分乗して西側登山口に向かいました。



景観を整備し見晴らしがのぞめました。



今から作業開始。村上さん



指導の下でスタジイを伐採する下山さん



下山途中、枯れ松を引き倒すためロープ掛け